

日医ニュース

2019. 9. 5 No. 1392

発行所 **日本医師会**
Japan Medical Association
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代)
FAX 03-3946-6295
E-mail www.info@po.med.or.jp
http://www.med.or.jp/



- トピックス**
- 定例記者会見 2面
 - 今村副会長に聞く 4面
 - 第3回生命を見つめる
フォト&エッセー
作品募集 5面

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)

日医・全国医学部長病院長会議合同記者会見

厚労省・中央医療対策協議会の取りまとめに対する 見解を公表

本協議会は、医師需給分科会の第2次中間取りまとめ(平成29年12月)や、「医療法及び医師法等の一部を改正する法律(平成30年7月)の附帯決議において、「医師偏在対策に携わる都道府県職員が医療政策に精通し、医師養成を行う大学や地域の医療機関等と協力・連携しながら実情に即した対応を進めること」ができるよう、都道府県に対し適切な支援を行うこと」が指摘されたことを受けて、都道府県における医療政策人材の育成・確保について、国による支援のあり方や関係団体間の連携のあり方等



厚生労働省の「中央医療対策協議会」(以下、協議会)の議論の取りまとめが、8月1日付けで公表されたことを受けて、横倉義武会長は8月6日、山下英俊全国医学部長病院長会議会長、協議会の委員でもある釜范敏常任理事と共に記者会見を行い、その方向性を評価する旨の見解を公表した。

本協議会は、医師需給分科会の第2次中間取りまとめ(平成29年12月)や、「医療法及び医師法等の一部を改正する法律(平成30年7月)の附帯決議において、「医師偏在対策に携わる都道府県職員が医療政策に精通し、医師養成を行う大学や地域の医療機関等と協力・連携しながら実情に即した対応を進めること」ができるよう、都道府県に対し適切な支援を行うこと」が指摘されたことを受けて、都道府県における医療政策人材の育成・確保について、国による支援のあり方や関係団体間の連携のあり方等

との前提に立ちつつも、(1)研修の受講ができるような人員確保や受講に必要な環境整備、医療機関等の人事交流などを行う、(2)まちづくり等の医療政策に関連する分野の知見を有する人材が医療担当部局で活かされるよう、人事上の配慮を行うこと等を求めている。

目的として、同年9月に設置されたものである。今回の取りまとめでは、都道府県に求められる医療政策人材として、(1)医療政策全般にわたる総合的な知識を取得し、医療政策の相互関係を理解でき、俯瞰的な視点に立つことのできる人材、(2)大学、医師会や医療機関等の地域の医療関係者と情報共有と意思疎通を図ることが出来る人材、(3)データも活用しながら医療政策を企画・立案できる人材を明示。都道府県に対しては、人材の育成・配置は地方自治に属する

また、医療政策の実行に当たっては、都道府県等の行政機関や地域の医師会、大学等が連携していくことが重要であることも、地域医師会

同常任理事は、「医師確保対策や地域医療構想の策定等、都道府県の医療政策には、行政、大学、医師会の三者の連携に基づいて具体的な施策が協議・立案され、実行に移していくことが求めらる」とした上で、今後も全国医学部長病院長会議と共に、各都道府県における三者の連携を注視し、都道府県医師会が更なる役割を果たせるよ

う、全力を尽くしていくとした。

山下全国医学部長病院長会議会長は、「多様化する医療政策の課題を解決するためには、求められる業務の質も複雑かつ高度な判断が必要になってきている」と述べると

ともに、これからは都道府県行政が自身のプランを押し切るのではなく、大学、医師会などの医療関係者と連携して、地域住民が安心して暮らしていけるような施策を実行することが求められていくと指摘。「同会議として、

府県行政が自身のプランを押し切るのではなく、大学、医師会などの医療関係者と連携して、地域住民が安心して暮らしていけるような施策を実行することが求められていくと指摘。「同会議として、

活動に関する情報共有を図ることを目的として、開催させてもらった。ぜひ、忌憚のないご意見を聞かせて欲しい」と述べた。

引き続き、行政並びに各団体から活動報告が行われた。

厚生労働省は、昨年度

でも、人材育成から地域医療を守るという観点から、日医と一緒になって地域医療のために汗をかき所存だ」とした上で、その具体的な方策として、継続的な人材育成に向けた医療政策講座の設置などを挙げた。

環境省は、福島原発事故後の健康管理として福島県が実施した、当時18歳以下の入居を対象とした甲状腺のスクリーニング検査では、甲状腺がんと原発事故との因果関係は見られないことなどを説明。「今後も、継続的にフォローアップしていきたい」とした。

各団体からの報告で、石川広常任理事が

政だけでは解決できない問題があり、今後も、各地域の実情にあった医療提供体制を構築できるよう、医療界を挙げて協力していくことが必要だ」と述べ、都道府県医師会がその役割を果たすことに期待感を示した。

「訪日外国人が増えてきており、その人達が被災者になる可能性もある」として、その対応への協力を求めた。

最後に、今村副会長が「今後も、適宜協議会を開催し、情報共有を図ることで引き続き一丸となって活動をしていきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい」と総括し、協議会は終了となった。

改修などができない病院はなぜできないのか、国はその理由もはっきり把握し、対応してもらいたい」と要望した。

EMISに関しては、石川常任理事が専用の回線を設置することが必要だと指摘。今村副会長は、「その機能を高めるためにも、現場の声を聞きながら、改善していかないと」と述べた。

その他、今村副会長は、「訪日外国人が増えてきており、その人達が被災者になる可能性もある」として、その対応への協力を求めた。

第27回被災者健康支援連絡協議会 構成団体の最近の活動状況について 情報共有を図る



第27回被災者健康支援連絡協議会が8月5日、日医会館3階小講堂で開催された。

当日の協議会は、今村聡同協議会事務局長(日医副会長)の司会で開会。冒頭あいさつした横倉代表(日医会長)は、構成団体の日頃の活動に対して感謝の意を示した上で、「本日は、今後発生する災害に備えて、各団体の活動に関する情報共有を図ることを目的として、開催させてもらった。ぜひ、忌憚のないご意見を聞かせて欲しい」と述べた。

引き続き、行政並びに各団体から活動報告が行われた。

厚生労働省は、昨年度から今年度の被災者生活支援特別対策本部からの協力要請を受け、同年3月11日に起きた東日本大震災の被災者を支援

することを目的として設置されたもので、横倉義武会長が代表を務めている。

当日の協議会は、今村聡同協議会事務局長(日医副会長)の司会で開会。冒頭あいさつした横倉代表(日医会長)は、構成団体の日頃の活動に対して感謝の意を示した上で、「本日は、今後発生する災害に備えて、各団体の活動に関する情報共有を図ることを目的として、開催させてもらった。ぜひ、忌憚のないご意見を聞かせて欲しい」と述べた。

引き続き、行政並びに各団体から活動報告が行われた。

厚生労働省は、昨年度から今年度の被災者生活支援特別対策本部からの協力要請を受け、同年3月11日に起きた東日本大震災の被災者を支援

日医 定例記者会見

8月6日

令和元年医師会立 助産師・看護師・ 准看護師学校養成所調査 結果を公表



公表した。

釜淵敏常任理事は、本年4月に日医が実施した「令和元年医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査」の結果を

本調査は、医師会立の助産師・看護師・准看護師学校養成所における入学・卒業状況の実態と経年変化の把握を目的として、今年度は333校全

【入学状況】 准看護師課程の応募者が昨年度の約1万1500人から約9600人と

【卒業後の進路】 准看護師課程の場合、医師会管内（設立母体の医師会の管内の医療機関に就業した者）が27・0%、医師会管外（それ

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【学校数】 今年度募集を行った学校数は、准看護師課程170校、看護師2年課程70校、看護師3年課程71校、助産師課程5校。特に、准看護師課程及び看護師2年課程は減少が止まらない状況となっている。

【卒業後の進路】 准看護師課程の場合、医師会管内（設立母体の医師会の管内の医療機関に就業した者）が27・0%、医師会管外（それ

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

の課題、更には今後の見通しについても調査を行った。

調査結果の主な概要は、以下のとおり。

【医師会からの繰入金の有無】 全課程で約6割が医師

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

なり、入学者も大きく定員割れをして約6200人であった（図1）。平均倍率は1・2倍。

また、看護師3年課程でも応募者の平均倍率が昨年度2・6倍から2・3倍となり、他の課程においても減少している。

【医師会からの繰入金の有無】 全課程で約6割が医師

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

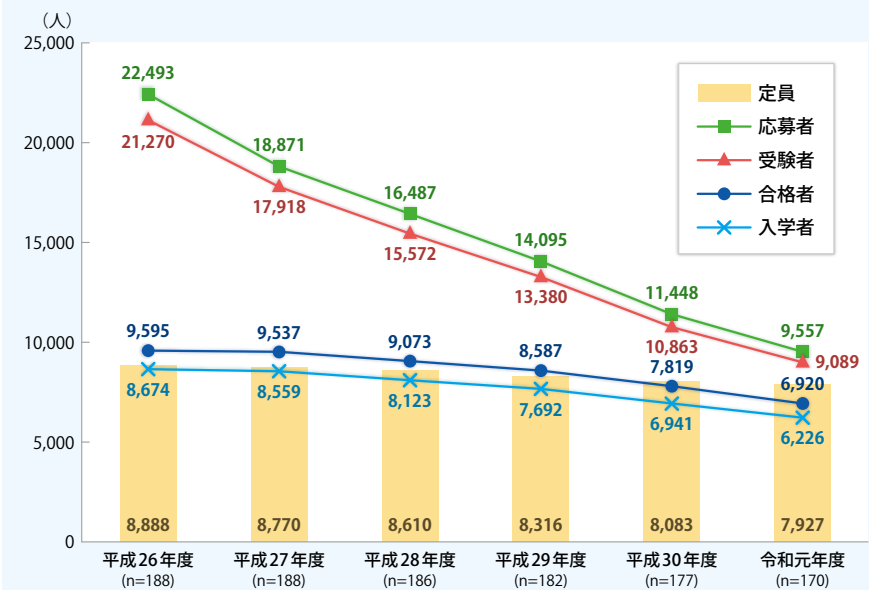


図1 入学状況（准看護師課程）

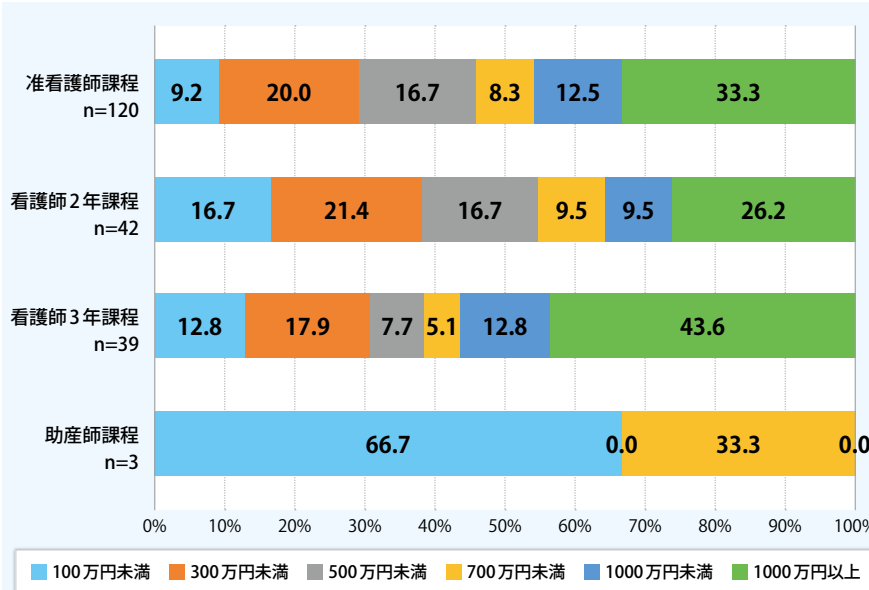


図2 医師会からの繰入金額

長島公之常任理事は、一部全国紙の報道に対する見解並びに日医のスイッチOTC医薬品についての対応方針を説明した。



同常任理事はまず、委員として参加している厚生労働省の「医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議」について、一部の全国紙で委員の構成や会議の成果など、同検討会議の存在意義を疑問視する報道がなされたことに触れ、

同常任理事は最後に、「日医は今後も、国民の安全を確保し、また、国民の医療へのアクセスが阻害されないよう、医薬品のスイッチOTC化についてしっかりと検討していく」と述べ、国民、関係者へ理解を求めた。

スイッチOTC医薬品への対応方針示す

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

【今後の見通し】 現状を維持できる見通しを示されたのが准看護

待合室等に掲示して下さい

今年度も、「日本医師会 赤ひげ大賞」の特別企画として、地域で活躍されているかかりつけの医師に対する『患者さんからの応援メッセージ』を募集することになりました。本紙に募集ポスターを同梱いたしましたので、待合室等への掲示にご協力をお願いいたします。

なお、昨年ご応募頂いたメッセージは、昨年度本賞表彰式会場に掲示された他、赤ひげ大賞の特設サイト (www.akahige-taishou.jp) にも掲載しておりますので、そちらもぜひご覧下さい。



横倉会長

第6回メキシコ日系医療セミナーに出席



ユカタン自治大学の野口英世像
像向かって左、高瀬大使、向かって右、ウィリアムズ学長、
コエリョセンター長、本間教授らと

横倉義武会長は8月9日から15日にかけて、メキシコを訪問。メキシコ日系人医師会及びメキシコ日本医療財団のホセ・ルイス・アカキ会長からの招待に応じ、メキシコシティにおいて開催された野口英世博士来墨100周年記念第6回メキシコ日系医療セミナーに出席した。

本セミナーは、2014年から在メキシコ日本大使館の協力の下、日系人医師及びメキシコ人医師、医療従事者、市民が参加して行われているもので、今回は約200名が参加した。

同行した黒川清日本医療政策機構代表理事は、自身が座長を務める野口英世アフリカ賞等について説明。本間俊二ニューヨーク野口英世記念会会長(米国日本人医師会元会長)コロンビア大学循環器系内科学主任教授)は、野口博士の歴史と功績、ニューヨークのウツドロン墓地にある同博士の墓碑等について講演を行った。

会場では、日本の国際医療協力を推進するメテイカル・エクセレンス・ジャパン (MEJ) 会員企業による展示会が催され、日本の先端医療機器が紹介された。

翌11日には、野口博士が100年前に来墨し熱病の研究を行ったユカタン半島メリダ市に移動。横倉会長は、メリダ市文化センターで行われた「ジャパンフェスティバル2019」に高瀬寧在メキシコ日本国特命全権大使等と出席し、メリダ市民に向け、現在に至るまで野口博士の功績が称えられ、息づいていることに対して感謝の意を表した。

12日には、野口博士来墨100周年記念式典が、ユカタン自治大学の野口英世地域研究センターホールで行われ、横倉会長は祝辞を述べた後、ホセ・ウィリアムズ学長、マティルデ・ヒメネス・コエリョセンター長らと共に野口博士の銅像に献花を行った。

その後、横倉会長は、「今に生きる野口英世博士の功績」をテーマとしたパネルディスカッション(座長・カルロス・カストロ・サンソレス医学部長)に参加した。

13日には、メリダからメキシコシティに移動し、高瀬大使等と保健省を訪問。ホルヘ・アルコセル・バレラ保健大臣と10月のG20保健大臣会合などの話題で懇談した。

次に、医療の質の保証、



バレラ保健大臣 (左から2人目)



国立医学アカデミーバスケス総裁 (中央)

訃報

野中 博氏 (元日医理事・元日医常任理事)



7月29日死去、71歳。葬儀並びに告別式は近親者のみにて執り行われた。後日、「お別れの会」を開催する予定。

氏は昭和22年東京都出身。昭和47年東京医科大学卒業。昭和60年野中醫院継承、平成2年医療法人社団博賢会野中医院開設。

東京都医師会理事・副会長を経て、平成16年4月から平成18年3月まで日医常任理事、平成23年4月から平成27年6月まで東京都医師会長、平成24年4月から平成28年6月まで日医理事を務めた。

平成30年に旭日中綬章を受章している。

病院の認証、保健に関する公共政策の策定等、国の保健制度の中枢を担っている保健衛生審議会との協議を行った。

その後、政府の諮問機関である国立医学アカデミーを訪問し、テレシータ・コロナ・バスケス総裁等と面談。バスケス総裁は、日本の医療、医学分野との二国間の交流について大きな関心を寄せ、高瀬大使、アカキ会長にメキシコにおける協力の協力をそれぞれ求めた。



今村副会長に聞く

「オンライン診療の適切な実施に関する指針」の見直しを受けて

「オンライン診療の適切な実施に関する指針」がこのほど見直された。

今号では、厚生労働省の「オンライン診療の適切な実施に関する指針見直しに関する検討会」の議論にも参画した今村聡副会長に、見直しのポイントなどについて解説してもらった。

日医では、これまで「オンライン診療は本当に必要な方々に提供される」「適切なルールの下で実施される必要がある」「実態を把握するため、そして、オンライン診療に適した診療を見極めるため、エビデンスを収集する必要があり」「単なる要求(demand)ではなく、必要性(needs)に基づいて実施していく必要がある」という基本的な考え方の下に、オンライン診療を安全かつ適切に普及していくためには、ルー

ルの整備が必要であることと強く訴えてきました。その結果、「オンライン診療の適切な実施に関する指針」が平成30年3月末に発出されたわけですが、同指針については、医療を取り巻く環境・情報通信技術は目まぐるしく進化することを踏まえ、「少なくとも1年に1回以上更新すること」となっており、今回の見直しとなりました。

今年1月より同検討会で議論が行われました。主な見直し点としては、(1)オンライン受診勧奨・遠隔健康医療相談等の整理、(2)「対面診療との組み合わせ」初診対面診療原則「や」同一医師による診療原則の例外的追加、オンライン診療時に予測された症状への対応の整理、(3)適切な通信環境の明確化、看護師等が診療を補助するオンライン診療の明示、(4)オンライン診療を提供する場合の「研修」必修化などが挙げられます。

(2)では、例えば、離島・へき地などで「常勤の医師が1人のみである」もしくは、「非常勤医師が交代勤務をしている」これらの医師が、急病等で診療を行うことができない時、代診を立てることが原則でしたが、それが困難等の場合には二次医療圏内にある他の

医療機関が初診からオンライン診療を行うことを認めることになりました。ただし、この診療を行うことができない医療機関では「既に対面診療」を行っていること、そしてその患者さんの情報も含め、あらかじめ医療機関の間で情報共有がなされていることが条件となっています。

緊急避妊薬のオンライン診療を例外的に認める条件

また、国民の関心が高く、報道もされていますが、「緊急避妊薬(アフターピル)のオンライン診療での処方」については、さまざまな角度から議論を行い、例外として認めることとなりました。

具体的には、まず、緊急避妊を要する女性が適切な医療機関にかかれるようにするため、相談窓口を地域ごとに設置し、ここから医療機関を紹介して対面診療につながる仕組みを構築することです。その上で、近隣に対面診療可能な医療機関がない場合や、女性の健康に関する相談窓口等の医師(連携医師も含む)が「女性の心理的な状態を鑑みて、対面診療が困難」と判断した場合には、産婦人科医または厚労省指定の研修を受講した医師が、例外的に初診からオンライン診療を行うことを認めることとしています。

ただし、①錠のみの院外処方とし、受診者は研修を受けた薬剤師による調剤を受け、薬剤師の面前で内服する②医師と薬剤師はより確実な避妊法を適切に説明し、受診者が、3週間後に産婦人科医による直接の対面診療を受けることを確実に担保することなどを例外として認める条件とし、厚労省がこうした事項が遵守されているか実態調査を行うことになっています。

主な見直しのポイント

「研修」必修化―などが挙げられます。

加えて、現在30代を中心とした産婦人科の医師は半分以上が女性の医師であることから、「投薬をきっかけに女性が相談しやすい生涯の健康確保のためのかかりつけ医を見つけるチャンスをつなぐことにもなり、オンライン診療を認めることになったとしても、極めて限

定的な案件にすべき」と発言しました。その他、オンライン診療を実施する際には、情報セキュリティに関する知識が必要になることから、2020年4月以降、オンライン診療を実施する医師にセキュリティ等に関する研修を受講することが義務付けられることになりました。

この義務は、既にオンライン診療を行っている医師にも適用され、2020年10月までの猶予が設けられています。

オンライン診療発展のため指針に基づく適切な実施を

オンライン診療は、今、黎明期にあります。へき地や離島などにいる医療機関へのアクセスが困難な患者が、対面診療と組

み合わせて、かかりつけ医を受診できる仕組みが構築できれば、今後の少子高齢化社会でも医療提供を行うための大切なツールとなる。オンライン診療を実施される会員の先生方には、「指針」や保険診療における要件等のルールを遵守の上、適切に実施して頂きたい。

医師に始まる医師、そして、これまでオンライン診療を実施されてきた方々には、改めて指針に基づいた適切な実施と保険診療における要件等のルールを遵守をお願いするものであり、オンライン診療が適切な形で普及・発展することを切に願っています。



お知らせ

「オンライン診療の適切な実施に関する指針」の全文、指針に関するQ&Aなどについては、厚生労働省のオンライン診療に関するホームページ (https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuu/rinsyo/index_00010.html) をご覧下さい。

！ 今回のインタビューのポイント


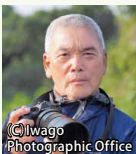




- 今回の指針の見直しは、医療を取り巻く環境・情報通信技術が目まぐるしく進化することを踏まえ、「少なくとも1年に1回以上更新すること」と定められていることから、行われたものである。
- 「緊急避妊薬(アフターピル)のオンライン診療での処方」については、さまざまな角度から議論が行われ、例外として認めることとなったが、各種条件が付けられている。
- へき地や離島などにいる医療機関へのアクセスが困難な患者が、オンライン診療と対面診療を組み合わせて、かかりつけ医を受診できる仕組みが構築できれば、今後の少子高齢化社会でも医療提供を行うための大切なツールとなる。オンライン診療を実施される会員の先生方には、「指針」や保険診療における要件等のルールを遵守の上、適切に実施して頂きたい。



第3回 生命を見つめるフォト&エッセー 作品募集

締切迫る

募集期間：令和元年5月14日(火)～10月3日(木) (必着)

	フォト部門	エッセー部門																																						
賞	<table border="1"> <tr><td>厚生労働大臣賞(1点)</td><td>賞金10万円、賞状 他</td></tr> <tr><td>日本医師会賞(1点)</td><td>賞金10万円、賞状 他</td></tr> <tr><td>読売新聞社賞(1点)</td><td>賞金10万円、賞状 他</td></tr> <tr><td>審査員特別賞(1点)</td><td>賞金5万円、賞状 他</td></tr> <tr><td>入選(若干名)</td><td>賞金3万円、賞状 他</td></tr> </table>	厚生労働大臣賞(1点)	賞金10万円、賞状 他	日本医師会賞(1点)	賞金10万円、賞状 他	読売新聞社賞(1点)	賞金10万円、賞状 他	審査員特別賞(1点)	賞金5万円、賞状 他	入選(若干名)	賞金3万円、賞状 他	<table border="1"> <tr><td>厚生労働大臣賞(1点)</td><td>賞金30万円、賞状 他</td></tr> <tr><td>日本医師会賞(1点)</td><td>賞金30万円、賞状 他</td></tr> <tr><td>読売新聞社賞(1点)</td><td>賞金30万円、賞状 他</td></tr> <tr><td>審査員特別賞(1点)</td><td>賞金10万円、賞状 他</td></tr> <tr><td>入選(若干名)</td><td>賞金3万円、賞状 他</td></tr> <tr><td colspan="2">一般の部</td></tr> <tr><td>最優秀賞(1点)</td><td>図書カード3万円分、賞状 他</td></tr> <tr><td>優秀賞(若干名)</td><td>図書カード5,000円分、賞状 他</td></tr> <tr><td colspan="2">中高生の部</td></tr> <tr><td>最優秀賞(1点)</td><td>図書カード1万円分、賞状 他</td></tr> <tr><td>優秀賞(若干名)</td><td>図書カード5,000円分、賞状 他</td></tr> <tr><td colspan="2">小学生の部</td></tr> <tr><td>最優秀賞(1点)</td><td>図書カード1万円分、賞状 他</td></tr> <tr><td>優秀賞(若干名)</td><td>図書カード5,000円分、賞状 他</td></tr> </table>	厚生労働大臣賞(1点)	賞金30万円、賞状 他	日本医師会賞(1点)	賞金30万円、賞状 他	読売新聞社賞(1点)	賞金30万円、賞状 他	審査員特別賞(1点)	賞金10万円、賞状 他	入選(若干名)	賞金3万円、賞状 他	一般の部		最優秀賞(1点)	図書カード3万円分、賞状 他	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状 他	中高生の部		最優秀賞(1点)	図書カード1万円分、賞状 他	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状 他	小学生の部		最優秀賞(1点)	図書カード1万円分、賞状 他	優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状 他
厚生労働大臣賞(1点)	賞金10万円、賞状 他																																							
日本医師会賞(1点)	賞金10万円、賞状 他																																							
読売新聞社賞(1点)	賞金10万円、賞状 他																																							
審査員特別賞(1点)	賞金5万円、賞状 他																																							
入選(若干名)	賞金3万円、賞状 他																																							
厚生労働大臣賞(1点)	賞金30万円、賞状 他																																							
日本医師会賞(1点)	賞金30万円、賞状 他																																							
読売新聞社賞(1点)	賞金30万円、賞状 他																																							
審査員特別賞(1点)	賞金10万円、賞状 他																																							
入選(若干名)	賞金3万円、賞状 他																																							
一般の部																																								
最優秀賞(1点)	図書カード3万円分、賞状 他																																							
優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状 他																																							
中高生の部																																								
最優秀賞(1点)	図書カード1万円分、賞状 他																																							
優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状 他																																							
小学生の部																																								
最優秀賞(1点)	図書カード1万円分、賞状 他																																							
優秀賞(若干名)	図書カード5,000円分、賞状 他																																							
概要	生命の尊さ、大切さを感じさせる写真を募集します。人間、動物、自然など被写体は自由です。	病気やけがをした時の思い出、介護や生命の誕生にまつわる話、医師や看護師、患者との交流など、医療や介護に関するエピソード、お世話になった医師や看護師ら宛てに送ったという想定「感謝の手紙」などを募集します。小学生の部では、ペットや動物の命にまつわるエピソードも応募可能です。																																						
審査員	 <p>野町和嘉 (写真家／日本写真家協会会長)</p>  <p>岩合光昭 (動物写真家)</p>  <p>松下奈緒 (女優／音楽家)</p> <p>他</p>	 <p>養老孟司 (東京大学名誉教授／解剖学者)</p>  <p>玄侑宗久 (作家／福聚寺住職)</p>  <p>水野真紀 (女優)</p> <p>他</p>																																						
応募規定	<ul style="list-style-type: none"> ● 応募作品は、平成28年6月1日以降に撮影したものに限り。 ※デジタルカメラで撮影したもの、デジタルプリントも応募可能。 ※500万画素以上であれば携帯電話等での撮影も可能。 ※画像処理等の加工、合成及び組み写真は不可。 ● 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。 ● 応募は1人3点までに限ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般・中高生の部：2,000字(原稿用紙1～5枚)以内。 ● 小学生の部：1,200字(原稿用紙1～3枚)以内。 ※パソコン、ワープロ使用の場合、1ページ400字(20字×20行) 																																						
応募方法	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブからの場合は、下記公式ホームページより応募して下さい。 ● 郵送の場合は、応募作品の裏に、題名、氏名(ふりがな)、性別、年齢(生年月日)、郵便番号、住所、電話番号(FAXがあればFAX番号も)、メールアドレス、職業(または学校名・学年)、撮影年月日、撮影場所、撮影に使用したカメラ等の機材名を明記した応募用紙(公式ホームページよりダウンロードしてご利用下さい)を貼り、下記の住所に送って下さい。 ※なお、審査期間中にオリジナルデータを提供して頂く場合があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ウェブからの場合は、下記公式ホームページより応募して下さい。 ● 郵送の場合は、応募作品に題名、氏名(ふりがな)、性別、年齢(生年月日)、郵便番号、住所、電話番号(FAXがあればFAX番号も)、メールアドレス、職業(または学校名・学年)を明記した応募用紙(公式ホームページよりダウンロードしてご利用下さい)を貼付し、下記の住所に送って下さい。 ※直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)、ボールペン、万年筆のいずれかを使い、濃く書いて下さい。 																																						
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 自作(本人撮影・執筆)の未発表作品に限り。盗作、二重応募、類似、事実でない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。 ※既に書籍化したものや、公の刊行物に掲載されたものは応募不可とします。 ※違反が確認された際は、受賞決定後も賞の取り消しとなる可能性があります。 ※フォト部門に応募の際は、被写体の肖像権やプライバシーの侵害、タイトルと被写体の事実関係には十分ご注意下さい。 ● 応募作品は返却いたしません。 ● 入賞作品についての著作権は、フォト部門は撮影者、エッセー部門は主催者に帰属します。入賞作品は、主催者が管理するウェブサイトで使用される他、新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・書籍・教材などに利用されることがあります。 ● 入賞作品の発表では、新聞紙面及びウェブサイト、作品と実名、年齢を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。 ● ご記入頂いた個人情報は、受賞した場合の連絡、作品に関する問い合わせ、取材、本コンテンツに関するご案内のみに使用し、それ以外の目的での使用や、第三者に譲渡することはありません。 																																							
応募・問い合わせ先	〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1 読売新聞東京本社 事業開発部「生命を見つめるフォト&エッセー」係 ☎03-3216-8606 (平日午前10時～午後5時) または 公式ホームページ (http://inochi-photo-essay.com) まで																																							

総務医療政策課 03-3942-6514 医事法・医療安全課 03-3942-6506 / 03-3942-6484 地域医療課 03-3942-6137 日本准看護師推進センター 03-3942-6512 治験促進センター 03-3942-1727 健康医療第一課 03-3942-6138 健康医療第二課 03-3942-8181
 感染症危機管理対策室 03-3942-6485 医賠責対策課 03-3942-6136 日医総研 03-3942-7215 女性医師支援センター 03-3942-6512 (防災センター)

日医後援映画

「山中静夫氏の尊厳死」が完成

日医が後援した映画「山中静夫氏の尊厳死」が、このほど完成し、9月21日から物語の舞台とな

った長野県での先行上映が開始される。本映画は、現役の医師であり、作家の南木佳士

氏が執筆した小説を映画化したもの。信州にある病院を舞台に医師と末期がん患者の目を通して、

死ぬことと最期まで生き抜くこととの意義を問う作品となっている。



死ぬことと最期まで生き抜くこととの意義を問う作品となっている。

肺がんを患い、静岡から故郷の信州へ帰ってきた患者役を中村梅雀氏が、医師役を津田寛治氏がそれぞれ熱演

がそれぞれ熱演（写真）。監督は

テレビを見ていて思ったこと。第2弾

動物用の食品のコーナー、全への無関心である。

動物用の食品のコーナー、全への無関心である。シヤル映像やドラマの中で、犬や猫と一緒にベッドに入る（普段私が診察している患者の中にも10人くらいはいる）、口移して餌を食べさせる（最近の私の患者ではアイスキャンデーを猫と一緒になめる）、ペットとキスをする等の場面によく出会う。



は伝わっていない状態である。振り返って私はどうかと申すと、日頃、感冒症

は伝わっていない状態である。振り返って私はどうかと申すと、日頃、感冒症

は伝わっていない状態である。振り返って私はどうかと申すと、日頃、感冒症

私の診療所の待合室には、一年位前から『近すぎませんか？ペットとの距離。』と書いた厚生労働省のチラシを貼っている。しかし、自院を訪れる人からの反応はな

私の診療所の待合室には、一年位前から『近すぎませんか？ペットとの距離。』と書いた厚生労働省のチラシを貼っている。しかし、自院を訪れる人からの反応はな

私の診療所の待合室には、一年位前から『近すぎませんか？ペットとの距離。』と書いた厚生労働省のチラシを貼っている。しかし、自院を訪れる人からの反応はな

私の診療所の待合室には、一年位前から『近すぎませんか？ペットとの距離。』と書いた厚生労働省のチラシを貼っている。しかし、自院を訪れる人からの反応はな

全国国民年金基金 日本医師・従業員支部案内

本年の社会保険料控除を希望する方は早めに参加を！

「人生100年時代」への備えとして、国民年金に上乗せする「公的な年金」である国民年金基金は重要な選択肢となり得るものである。

加入メリットとしては、掛金全額が総所得金額から控除できる社会保険料控除の対象となること

が挙げられる。この社会保険料控除は、1月から12月末まで実際に納付した金額が対象となる。

掛金額の口座引き落としは2カ月遅れであることから、9月の中旬までに加入申出書を受け付け

た場合、9月分（初回分）



なお、来年には東京・シネスイッチ銀座を始め、全国で順次公開されることにな

訂正

本紙第1391号の「勤務医のページ」に掲載しました「大阪府医師会が進める勤務医部会活動」について、誤った修正を加えて掲載してしまいました。お詫びするとともに、訂正いたします。

正) 副会長が阿部源三郎先生（伊藤萬診療所）、関一郎先生（大阪医科大学）、藤田栄隆先生（大阪赤十字病院）であった。

誤) 副会長が阿部源三郎先生（伊藤萬診療所）、委員が関一郎先生（大阪医科大学）、藤田栄隆先生（大阪赤十字病院）であった。

南から北から

広島県
広島市医師会だより
No.625より

カフェ

河原理枝子

戸外で食事をすると、
どうしてあんなにおいし
いのだろう。

小学生の頃、遠足の日、
青空の下で広げるお弁当
のおいしさ。気候の良い
季節、子どもが幼い頃は
ピクニックやキャンプに
よく出かけたものだ。子
どもも喜んでいたらと思
うが、親も負けず楽しんで
いた。何でもないおむ
すびでも、不慣れなキャン
プの夕食でも、自然の風
を感じながら、何とおい
しかったことだろう。

ウィーンに行った時、
カフェのテラス席が心地
良く、あちこちのカフェ
に通った。落ち着いた美
しい街並みの空気を感
じながら、おいしいコー
ヒーやランチを楽しんだ。
コーヒーを頼むと海外
では珍しく、銀のトレイ
に必ずコップのお水とも
に持ってきてくれる。

レモンを半個たっぷり
搾って、サクサクしたヴ
イーナーシュニッツェル
の香ばしさがかったこと、
時にダイヤモンドダ
ストが見られるという厳寒
のウィーン、冬はもちろ
んテラス席はなく、気候

の許す春々秋まで。あま
りに交通量が多いと排ガ
スやホコリで快適とは言
えないがその点ウィー
ンの街はゆったりで、そ
ここのクラシックなカ
フェの個性や活気や静け
さを楽しむことができる。
パリのカフェは、より
華やかでしゃべりていて、
ギャルソンの立ち居振舞
いも洗練されてスキがな
い。動きに一分のムダも
なくピシリと決まって、
舞台俳優を見ているよう
だ。名門のしにせ「カフ
エ・ド・フロール」で、
初めての日本人ギャルソ
ンになった山下哲也氏に
よると、立ち位置や各テ
ーブルに行く歩数までお
のずと決まっている、と
のこと。

青森県
南黒医師会報
第97号より

鼻濁音

盛 庸

青森県黒石市で生ま
れ、幼稚園、小学校、中
学校、高校、大学と津軽
にずっと住み、弘前大学
医学部耳鼻咽喉科に入学
し、現在に至る。

大学医学部時代は12
0人中100人が青森県
外出身であったので、標
準語を使うとした時期
があった。津軽弁には、
よその方には絶対分から
ない単語がいっぱいある。

最初の頃、私は単語も
アクセントも考えて会話
を試みたが、北海道出身
の友人に私の言葉は女言
葉だと言われ挫折した。
それ以来、単語は標準語、
アクセントは津軽弁の私
の会話が始まった。

ただ、単語は標準語と
いっても、アクセントの
他に津軽弁にはもう一つ
難題がある。それは鼻濁
音の多さである。私も昭

落として内股で……。そ
う。日本舞踊の歩き
方。日本人のDNAか。
「カフェ・ド・フロ
ール」の初めての日本支店
が、福岡キャナルシティ
に開店したというので行
って見たが、ほどなく撤
退してしまった。雰囲気
も客も、パリ本店とは似
て非なるものであった。
日本の土壌には根付くこ
とができなかったのでは
あるが、膝を曲げ腰を
ろう。

和28年生まれの津軽人
であるので、かなりの鼻濁
音の使い手だと思われる
が、25年ぐらい前に東京
の某一流ホテルで鼻濁音
事件に遭遇するまでは、
鼻濁音を気にすることも
なかった。

まず、鼻濁音について
一般的なことを書いてみ
ます。「鼻濁音」とは、
「が、ぎ、ぐ、げ、ご」のガ
行の音を「んが、んぎ、
んぐ、んげ、んご」とい
うふうに、鼻の方へ抜い
た発声法です。「が、ぎ、
ぐ、げ、ご」というよう
に、カ行に半濁音をつけ
た表記もされるようです。
以下は、『NHK日本
語発音アクセント新辞
典』から抜粋した鼻濁音
の発音法則です。

1. 語頭においては、原則として「ガ」行音に発音する。(例) ガッコ
2. 助詞の「ガ」は「ガ」と発音する。(例) ワタシガ(私が)
3. 語間においては、原則として「ガ」行音に発音する。(例) カギ(鍵) ウグイス(鶯) エンゲ(演芸) ゴゴ(午後) ショーガッコ(小学校) ショガッコ(女学校)
4. 「カキケケコ」の連濁は原則として「ガ」行音に発音する。(例) ハルガスミ(春霞) ホンギマリ(本決まり) ウバグルマ(乳母車)
5. 数詞の「五」は、原則として常に「ゴ」と発音する。(例) ゴマン・ゴセン・ゴヒヤク・ゴジュウ・ゴエン(五萬五千五百五十五円)
6. カナ四字(又は六字から成る擬声語)では、語間でも「ガ」行音に発音する。(例) ガンガン(ギンギン) ゲンゲン(ゲラゲラ) ゴンゴン(ガラシガラン)
7. 省略
8. 複合語中、意味上よりする心理的ポーズのある場合は、語間でも「ガ」行音に発音する。(例) オンガク・ガッコ(音楽学校) ロープ・ガッコ(縄跳学校) 9~19. 省略

才局のアナウンサーの発
音教育でも鼻濁音の使用
が徹底されてきたよう
ですが、最近の「鼻濁音(ガ
行鼻音)」についての調査
結果では、現在の日本人
で鼻濁音を使っている人
は全体の約2割に過ぎず、
また、若い人ほど使用率
が下がっているよう
です。東北地方と北陸地方
の鼻濁音の使用率は60
70%と高いのですが、こ
の地域でも若い人は鼻濁
音を使用しないようです。
25年ぐらい前の東京の
某一流ホテルでの鼻濁音
事件についてですが、東
京での日本耳鼻咽喉科学
会に出席した際、一緒に
上京した女房が先にホテ
ルにチェックインし、銀
座に出かけた。私が後か
らホテルのフロントで、
「女房がカギを預けてい
ると思うんですけど」と
告げた。フロント係の女
性が「……もう一度カ
ギを預けていると思っ
てください」。フロント係
の女性が「当ホテルでは
生ものは、預からないよ
うにしているのですが」。
何で鍵が生ものか分から
ないでいるうちに、隣に
いた係員が「ルームキー
ですね」の助け舟で「カ
ギ」を手に入れました。
最初に対応したフロント
係の女性が部屋まで案内
してくれましたが、「す
いません。お客様が言葉
が『蟹』に聞こえてあんな
ことを言ってしまうま
した」。この事件が鼻濁
音に興味を抱いた最初で
した。
鼻濁音の良さは、日本
語を響かせて美しい音と
して相手に伝えること
先に書きましたが、使い
手がどんどん減っている
現在、これからも残して
いきたい、特に津軽だけ
でもと思いつながら鼻濁音
を日々使って研鑽してい
ます。(一部省略)

宮崎県
日州医事
第833号より

撮り鉄

大森 史彦

若い頃から天体観測、
特に彗星の観測と写真撮
影が趣味でしたが、医師
の仕事は忙しく、夜間の
趣味は難しいので、昼間
にできる「撮り鉄」を始
めました。自宅に近い高
鍋駅周辺の日豊本線を主
に撮影し、たまに人吉で
「SL人吉」を撮影して
います。

小丸川に架かる小丸川
鉄橋は、撮り鉄の間では
有名撮影ポイントだそう
です。海側から尾鈴山を
背景にしたり、上流側か
ら川や海、広がる空を背
景に撮影したりと、いろ
んな構図で撮影できま
す。以前は、JR九州の
「ななつぼし」が水曜早
朝にここを通過していた
ので、診療を始める前に
撮影できました。

高速で通過する列車の
撮影は、一瞬が勝負です。
球磨川第二橋梁でSLを
撮影した際、最高の写真
を撮ろうと欲張り過ぎ
て、連写をしたり、ズー
ムしたりした結果、ひど
い画像になってしまいま
した。妻がスマホで撮っ
た写真が、その日のベス
トショットでした。

心機一転、10月に人吉
に出掛け、稲穂が色づい
た田んぼの中を走るSL
を撮りました。今回は連
写無し、ズーム無しのワ
ンチャンスに賭けまし
た。結果は、SLが山の
色と同化して、何を撮っ
たか分かりませんでした。
高校の先輩がプロの写
真家で、風景の中の列車
も撮っています。一度、
東京の個展に行きました
が、作品はどれもすばら
しく、構図、色彩、光の
どれをとっても足元にも
及びませんでした。いつ
か、あのような感動を与
える写真を撮れるように
なりたいなと願います。
動く対象は難しいか
ら、じっとしている対象
はどうかと妻から言われ
ます。野良猫は岩合光昭
さんという偉大な先輩が
いるし、お地蔵さんや自
然には心が動かないし
……。やっぱり私は、子
どもの頃眺めていたSL
の音や匂いが好きです。
納得のいく写真が撮れる
まで「撮り鉄」を続けた
いと思います。

案内



クロスヘルスEXPO 2019

東京ビッグサイトで10月9日(水)から11日(金)まで開催される「クロスヘルスEXPO 2019」(主催:日経BIP社)

・事業説明「医師主導による医療機器開発・事業化支援事業」について(羽鳥裕常任理事)

講演①「側疝症診断のための新たな検査装置」(渡辺航太)

講演②「なぜ、全く新しい形状を採用した手首式血圧計開発が成功したのか」(渡邊嘉行)

日医「ラブレーション」企画

「医師のアイデアを製品開発に」日本医師会が取り組む医療機器開発支援事業

◆日時:10月10日(木)午後3時~4時20分

◆会場:東京ビッグサイト セミナー会場A

◆参加費:5000円

◆日時:10月11日(金)午前10時~11時40分

◆会場:東京ビッグサイト セミナー会場A

◆参加費:5000円

◆内容:社会保障改革の課題と限界、持続可能な医療・介護のあり方とは

防災推進国民大会2019

日本医師会セッション

「災害と医療」レジリエントな地域づくりとは

日医は、「防災推進国民大会(国民の防災意識向上を目的として、防災推進国民会議、防災推進協議会、内閣府主催によるイベント)」に、毎年出展しています。今年度も昨年度同様、日医がシ

◆日時:10月19日(土)午後4時30分~6時

◆会場:名古屋コンベンションホール センターエリア3F301会議室

◆参加料:無料

◆申込方法:事前の申し込み等は不要です。当日、会場前に直接お越し下さい。

◆主な内容:災害対策や地域包括ケア等の活動に積極的に取り組まれている愛知県医師会の協力の下、災害から地域包括ケア、地域医療を守り、復旧を果たしていくことについて、教育・介護等の

令和元年度死体検案研修会(基礎)

◆主催:日本医師会

◆日時:10月20日(日)午前10時~午後5時30分

◆会場:日医会館大講堂

◆受講対象:医師

◆受講料:無料

◆申込方法:受講希望の方は日医ホームページ

◆日時:11月2日(土)午前9時~午後5時45分

◆会場:日医会館大講堂

◆対象者:医師及び医療従事者、一般

◆参加費:無料

◆主な講習内容:「死体検案に係る法令の概説、死体検案書の作成について」(厚生労働省医政局医事課)

◆警察の検視、調査の視点から(警察庁選定)

さまざまな関係者の参画も得て、問題提起やその解決策について講義やディスカッションを行います。

パネリストは、石川広己常任理事、野田正治愛知県理事、伊藤之一愛知県医救急委員会委員長、土高智幸医療法人稲生会理事長、古川大祐愛知健康対策部長を予定。

◆問い合わせ先:日医地域医療課(☎03-3942-6137(直))

長/和歌山県立医科大学法医学講座教授)

◆「死体検案の実際」(大木實福岡県医師会監事)

◆「救急における死体検案」(横田裕行日本救急医学会監事)

◆「在宅死と死体検案」(福永龍繁科学警察研究所長)

◆「死体検案における死亡画像診断(AI)の活用」(高野英行オートプサイメーシング学会理事)

◆問い合わせ・申し込み先:日医医事法・医療安全課(☎03-3942-6484(直)、☎03-3946-6295)

◆本研修会は、日医生涯教育制度の対象となり、6単位が取得できる。

第7回

人間を中心とした医療国際会議

ワーク・ライフ・バランス:課題とその解決手段

◆主催:日本医師会、人間を中心とした医療国際会議

◆日時:11月2日(土)午前9時~午後5時45分

◆会場:日医会館大講堂

◆対象者:医師及び医療従事者、一般

◆参加費:無料

◆主なプログラム:「開会セッション」

・セッション1「人間中心の医療の概念、ワーク・ライフ・バランス及び燃え尽き症候群」

9の採択及び公表

◆申込方法:日医ホームページ

◆「在宅死と死体検案」(福永龍繁科学警察研究所長)

◆「死体検案における死亡画像診断(AI)の活用」(高野英行オートプサイメーシング学会理事)

◆問い合わせ・申し込み先:日医医事法・医療安全課(☎03-3942-6484(直)、☎03-3946-6295)

◆本研修会は、日医生涯教育制度の対象となり、6単位が取得できる。

◆「死体検案」(濱者未定)

◆シンポジウム「現代の子どもが抱える諸問題について」(仮)

①「小児在宅ケアの未来に向けて」(仮) ②「子どもの頭痛について」(仮) ③「丸木雄一 埼玉県医常任理事」

◆「子どもの運動器症候群」(ロコモ)と運動器検査の重要性(仮) (柴田輝明 埼玉県医学校医常任理事) ④「発達障害の理解と対応」(平岩幹国 立研究開発法人国立教育医療研究センター理事)

◆特別講演「波沢栄一を育てた環境と時代」(米一 鹿島業と、人づくり) (鹿島高光 波沢栄一 記念財団・竜門社 深谷支部幹事)

◆申込方法:大会専用ホームページから申し込み願いたい。

◆参加費:20000円(昼食・懇親会費を含む) ※ただし、参加申込に対して、手配通信費として1名につき5000円の費用負担有り。

◆申込方法:大会専用ホームページから申し込み願いたい。

◆主なプログラム:「分科会」

①からだ・こころ②耳鼻咽喉科③眼科

◆開会式・表彰式

令和元年度 第50回全国学校保健・学校医大会

◆メインテーマ:「多様化する社会と子どもの成長」

◆主催:日本医師会

◆担当:埼玉県医師会

◆日時:11月23日(土) 祝)午前10時~

◆会場:ソニックシティ/パレスホテル大宮(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)

◆参加者:日医会員及び学校保健に関係のある専門職の者

◆参加費:20000円(昼食・懇親会費を含む) ※ただし、参加申込に対して、手配通信費として1名につき5000円の費用負担有り。

◆申込方法:大会専用ホームページから申し込み願いたい。

◆主なプログラム:「分科会」

①からだ・こころ②耳鼻咽喉科③眼科

◆開会式・表彰式

◆基調講演「日本医師会学校医宣言」について

◆問い合わせ先:日医国際課(☎03-3942-6121(代)、☎jmainit@po.med.or.jp)

◆「在宅死と死体検案」(福永龍繁科学警察研究所長)

◆「死体検案における死亡画像診断(AI)の活用」(高野英行オートプサイメーシング学会理事)

◆「死体検案」(濱者未定)

◆シンポジウム「現代の子どもが抱える諸問題について」(仮)

①「小児在宅ケアの未来に向けて」(仮) ②「子どもの頭痛について」(仮) ③「丸木雄一 埼玉県医常任理事」

◆「子どもの運動器症候群」(ロコモ)と運動器検査の重要性(仮) (柴田輝明 埼玉県医学校医常任理事) ④「発達障害の理解と対応」(平岩幹国 立研究開発法人国立教育医療研究センター理事)

◆特別講演「波沢栄一を育てた環境と時代」(米一 鹿島業と、人づくり) (鹿島高光 波沢栄一 記念財団・竜門社 深谷支部幹事)

◆申込方法:大会専用ホームページから申し込み願いたい。

◆参加費:20000円(昼食・懇親会費を含む) ※ただし、参加申込に対して、手配通信費として1名につき5000円の費用負担有り。

◆申込方法:大会専用ホームページから申し込み願いたい。

◆主なプログラム:「分科会」

①からだ・こころ②耳鼻咽喉科③眼科

◆開会式・表彰式

◆基調講演「日本医師会学校医宣言」について